

九州運輸局メールマガジン 平成27年6月25日 第309号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けいたします。

次回発行日は平成27年7月9日(木)です。

## 目次

### 1 現場レポート

・ 関門トンネル総合防災訓練

・ 海事産業の魅力を紹介～中学生が最新鋭カーフェリーとマイナス60の世界を体験～

・ 中心市街地循環バス「大分きゃんばす」実証運行開始！

・ 巖流島残留乗客防止対策会議を開催！～決闘の地「巖流島」の上陸観光をより安心安全に～

・ 奄美群島にて街頭検査を実施

### 2 「海フェスタくまもと」情報

・ 7月18日の開催までいよいよ1カ月を切りました！

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報(6月11日～6月24日掲載分)

#### 1 現場レポート

##### 関門トンネル総合防災訓練

6月10日(水) 山陽線関門トンネルにおいて、関門トンネル総合防災訓練が実施され、JR九州、門司消防署、福岡県鉄道警察隊、門司警察署、JR西日本、JR貨物などの約160名が参加し、九州運輸局からは久保田次長ほか4名が参加しました。

同トンネルは下関駅～門司駅間の長さ約3.6kmの水底トンネルで、下り線トンネルと上り線トンネルの2本があり、下り線トンネルは昭和17年、上り線トンネルは昭和19年に完成しており、今年の上り線トンネルでの訓練実施となりました。この防災訓練は、昭和28年6月28日に北部九州を襲った豪雨により門司駅構内に濁水が押し寄せ、関門トンネルに流入、完全復旧まで21日を要した災害を教訓に昭和30年より毎年6月に梅雨期の災害を想定して行われており、今年で62回目となります。

今回は、救援訓練と防災訓練の2つの訓練が実施されました。まず、救援訓練では、機器の故障により関門トンネルの門司方約300m入ったところで列車が立ち往生したとの想定で行われ、JR貨物のディーゼル機関車を救援車両として連結し、トンネル内から門司駅まで引き上げるというものでした。運転士、車掌が連携し、運転指令所等と無線で連絡を取りながら訓練が確実に実施されていました。

防災訓練は、連続降雨量が500mmに達し、1時間当たりの雨量が100mmを超える豪雨となり、関門トンネルに大量の雨水が流入する恐れがあるとの想定で行われました。

関門トンネル上り線にて、電力関係の社員がはしごを掛け、2名で電車線路(架線)を切断し、保線関係の社員はトンネル入口に設置してある鉄製の防水扉を手動で閉

鎖、防水の補助として防水シートを掛けて土のうを積み上げ、その後、復旧及び各施設の点検を行うというものでした。

訓練中は、片方の線路（下り線）を単線運転としているため、営業列車が絶えず走行している状態であり、限られた時間ではありましたが、いずれの訓練も緊張感の中、きびきびとした行動で実施されていました。

今後も防災の備えに万全を期し、災害がないことを祈るばかりです。

なお、トンネル内は1年を通して一定の気温とのことであり、涼しく爽やかでした。

訓練の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_309\\_1.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_309_1.pdf)

（鉄道部 計画課）

-----  
海事産業の魅力を紹介

～ 中学生が最新鋭カーフェリーとマイナス60の世界を体験 ～

島国である日本は、生活に必要な物資の多くを海外からの輸入に頼っており、船舶は日本の貿易貨物量の実に99.7%を輸送するなど、我々の豊かな生活を支えています。

また、造船・外航海運・内航海運・旅客船・港湾荷役・倉庫等の海事産業では多くの雇用を生み発展してきましたが、近年、海事産業労働者の高齢化・後継者不足・技術伝承など緊喫の課題を多く抱えています。

そのような中、福岡運輸支局と若松海事事務所では、次世代を担う青少年を対象に、「海の仕事」の存在を認識してもらうために様々なイベントを企画しています。

今回は、阪九フェリー（株）及びマルイ運輸（株）並びに（公財）九州運輸振興センターのご協力を得て、北九州市立白銀中学校2年生36人教員6名を対象に海事施設見学会を実施しました。

最初に見学したのは、4月に就航したばかりの阪九フェリーの最新鋭カーフェリー「ひびき（15,897総トン）」、参加した生徒たちは客室やエントランス等のデラックスさに「すごく豪華」などの驚きの声を挙げてた一方で、船橋では航海士から操縦の方法をレクチャーされ、頷きながら熱心に聞き入っていました。

次に見学したのは、冷蔵倉庫の規模では九州屈指のマルイ運輸で0℃、-20℃、-30℃の各部屋を順にすすみ、最後に-60℃の世界を体験、「寒い、髪が凍る、喉が痛い」などの喚声が挙がっていましたが、終了後のアンケートでは多くの生徒が「寒かったがよい体験になった」と答えていました。

同校を対象とした見学会は5年連続で行っていますが、昨年度、同校の卒業生1名が水産高校へ進学するなど具体的な効果も現れており、今後も海事施設見学会等を実施し、小中学生及び教師に対する海事産業の意識向上・啓発に取り組んでいくこととしています。

見学会の様子は次のURLからご覧になれます。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_309\\_7.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_309_7.pdf)

（福岡運輸支局運航部門）  
-----

中心市街地循環バス「大分きゃんばす」実証運行開始！

大分市の中心市街地は、4月16日にJR大分シティが開業し、4月24日には大分県立美術館（OPAM）がオープンするなど大きく変貌を遂げており、また、7月からは「おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン」も行われることから県内外からの観光客が大勢訪れることが期待されています。

そうした中、大分市中心市街地の回遊性の向上や公共交通機関の利用促進などを目的に「中心市街地循環バス「大分きゃんばす」実証運行」を行うこととなり、その運行開始式が6月13日（土）に行われました。実証運行は6月13日から平成28年3月31日までで、実証運行終了後に乗客数などの結果を精査のうえ本格運行を検討することとなります。

中心市街地循環バス「大分きゃんばす」は、新たな賑わいの中心となる大分駅からまちなかを通り、様々なアートが楽しめる大分県立美術館（OPAM）と大分市美術館を結んでおり、美術館巡りや商店街での買い物などに利用して頂けること期待しているところです。

なお、運行ルートは「要町バス停～大分県立美術館～ホルトホール大分～大分市美術館」を折り返す総延長8.2km、運行時間は34分で、平日は30分間隔/土日祭日は20分間隔で運行。運賃は100円（小学生以下は50円）で1日乗り放題の300円券も用意されています。

大分にお越しの際は、是非「大分きゃんばす」をご利用下さり、美術館巡りで豊かな気持ちになっては如何ですか。

運行開始式の模様やリーフレットは次のURLからご覧になれます。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_309\\_3.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_309_3.pdf)

（大分運輸支局 輸送・監査部門）

-----  
巖流島残留乗客防止対策会議を開催！

～決闘の地「巖流島」の上陸観光をより安心安全に～

武蔵・小次郎の決闘で有名な巖流島、関門海峡の中に浮かぶ周囲1.6kmの無人島ですが、最近では下関市の観光名所として様々な「対決」をテーマにしたイベント会場に使われており、年間約10万人の観光客が下関港や門司港からの定期船などを使って上陸しています。

この巖流島で、今年5月に上陸した男女1組が最終便に乗り遅れ、島に取り残されるという事案が発生しました。最終便の時間を気にせず上陸し、島の最南端で時間が経つのを忘れていたという不注意が原因なのですが、気付いた時には、既に旅客船会社も営業を終えている時間、いろいろな所へ電話を掛けて迎えを要請したようです。最終的には下関市役所の観光施設課に電話が繋がり、海上タクシーで無事帰ることができました。

当事務所でこの事案を調べて行くなかで、同種事案が過去少なからず発生しているということが判明しました。いずれも事故や事件に発展していないものの、無人島での出来事ということを考えれば、何らかの防止対策が必要ということで、急遽関係者を糾合して、去る6月15日対策会議を開催しました。

会議には、下関海上保安署、下関警察署、下関市の観光及び港湾担当課、そして旅客船事業者2社と海上タクシー1社に参加をしていただきました。

当事務所が予め撮影していた巖流島や巖流島航路の状況をスライドで投影し、全体で確認するとともに、現状における問題点を航路事業者、施設管理者ごとに整理し、今後の対策を協議しました。

その結果、航路事業者、施設管理者として、最終便の時間周知をより徹底することとしたほか、緊急時の連絡先の掲示、万一の場合には海上タクシーの利用を第一義とすることを全体で確認しました。

当事務所では、本会議で確認された事項が確実に実施されているか今後も注視していきますので、読者の皆様におかれましても、大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台でもある下関市にお越しの際には、是非、古に思いを馳せながら「巖流島」の散策を安心してお楽しみいただきたいと思います。

会議の様など次のURLからどうぞ。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_309\\_4.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_309_4.pdf)

(下関海事事務所)

-----  
奄美群島にて街頭検査を実施

奄美自動車検査登録事務所では、不正改造車排除・定期点検整備の啓発及び促進のため、軽自動車検査協会、警察署、整備振興会の協力を得て奄美群島において街頭検査を実施しました。

主な結果は次のとおりです。

- ・5月22日喜界島(喜界町池海水浴場前)...検査車両95台(整備不良:普通車1台、軽自動車16台)
- ・6月12日徳之島(天城町平井製糖前)...検査車両100台(整備不良:普通車2台、軽自動車12台/無車検車両4台)
- ・6月17日沖永良部島(和泊町沖永良部警察署前)...検査車両109台(整備不良:普通車6台、軽自動車14台)
- ・6月18日与論島(与論町中央公民館前)...検査車両96台(整備不良:普通車5台、軽自動車16台/無車検車両1台)

なお、整備不良箇所は灯火類の不点灯が全体の68%と最も多く、次いでタイヤ摩耗、窓ガラスの損傷等となっています。

不正改造につきましては、運転席・助手席のフィルム貼付や窓枠カーテンの取り付けでしたが、その場の指導で改善されたことにより整備命令は交付しませんでした。また、検査対象外軽自動車(250cc以下のバイク)の自賠責保険の加入状況確認を行ったところ、原付バイク29台中8台が保険証書を携帯せず運行していたため、警告書を交付しました。

今回の街頭検査において、全検査台数400台のうち5台の無車検車両があったことはとても残念なことです。

今後とも「自動車点検整備推進運動強化月間」を展開するなど、関係機関、関係団体のご協力をいただきながら自動車の適切な維持管理の推進に取り組んで参りたい

いと考えております。

検査の様子は次のURLから。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_309\\_5.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_309_5.pdf)

( 奄美自動車検査登録事務所 )

### 3 「海フェスタくまもと」情報

7月18日の開催までいよいよ1カ月を切りました！

海の恵みに感謝し、広く海に親しむことを目的に毎年全国の港湾都市で開催される日本最大の海の祭典「海フェスタ」の開催まであと23日、今号では玉名市、宇城市、荒尾市、上天草市のご担当者の熱い意気込みをお届けします。

#### 【玉名市】

当市の「海フェスタくまもと」担当は、玉名市役所建設管理課です。

7月18日からの開催に向け、海フェスタ事務局とのメールのやり取り、庁内・各協賛団体等との連絡、調整、打合せ等に毎日奔走しています。

期間中、玉名市内では、熊本県北唯一の海水浴場・鍋松原海岸を会場に7月19(日)に小学生ビーチバレー大会ペンギンカップ、7月20(月・祝)にKYUSYU SUN-CUP 15たいめい大会、8月1日(土)にビーチフラッグ大会を開催します。現在(6月22日)参加受付を行っています。

海フェスタのメイン会場の熊本港では7月24日(金)に玉名市 PR ブースにおいて玉名物産振興協会の特産物販売とステージイベントを行います。

また、期間中はスタンプラリーも実施され、玉名市は「玉名市立歴史博物館こころピア」が会場になります。今、オンラインゲームで注目されている熊本の刀「同田貫」が展示されており、若い女性を中心としたファンが県内外から訪れています。先日は日本テレビ系列の「NEWS ZERO」の取材を受け、全国ニュースとして取り上げられました。

ここで、海フェスタ以外の事で玉名市の紹介をさせていただきます。

熊本県玉名市は熊本県西北部に位置し、有明海、菊池川、小代山及び金峰山系の山々など豊かな自然と多くの歴史的資源があります。

産業面では、米・みかん・いちご・トマトなどの農産物やノリなどの水産物の生産も盛んです。

また、玉名市の紹介として欠かせないものに温泉があります。市内中心部の「玉名温泉」は1300余年の歴史があり、白鷺が傷を癒していることで発見されたという伝説があり、泉質は無色透明、すべりのよい泉質で神経痛などの効用があります。市南部の「小天温泉」は文豪・夏目漱石ゆかりの温泉で、小説「草枕」の舞台となりました。

最後に、玉名市のおすすめとして「玉名ラーメン」があります。熊本ラーメンのルーツと言われ、博多ラーメンや久留米ラーメンとは一味違った濃厚なとんこつスープと後から入れる揚げにんにくが特徴です。市内には10数店のラーメン店があり、店ごとにこだわり抜いて作られた一杯をお楽しみいただけます。

ぜひ、玉名市にお立ち寄りください。お待ちしております。

#### 【宇城市】

「海フェスタくまもと開催記念 海の日協賛・みすみ港祭り」は、今年7月25日の開催を予定しており、残すところ30日を切り、担当課であります宇城市三角支所経済課では4月の定期異動により、港祭り担当者が交代したため慌ただしく準備



を進めております。

今回担当となって初めて準備作業を行っているところですが、実際に準備にあたってみて、これまで祭りの華やかな部分に目が行きがちだったのですが、そこに至るまで多くの人の協力により運営されているのだなと改めて感じております。

現在、事務局では各種イベントの最終調整、関係機関への協力依頼等を行っているところです。今後は、イベントへの参加申し込みの受け付け等で祭りへ向けて徐々に盛り上がっていくと思っております。

また、みすみ港祭りのメインイベントであります海上花火大会は、間近で見られて迫力があると来場者の方から好評を得ており、多くの方にご覧いただきたいと思っております。

皆様！是非「みすみ港祭り」にお越しください。

### 【荒尾市】

荒尾市は、有明海の広大な干潟を有し、「荒尾干潟」が2012年に熊本県内で初めて「ラムサール条約湿地」に登録されました。また、7月には、「万田坑」が明治日本の産業革命遺産の一つとして世界文化遺産登録を控えています。

当市では、『海フェスタくまもと』協賛イベントとして「第12回荒尾マジック釣り大会」と「第22回あらお荒炎祭」を開催します。両イベントとも荒尾市を代表するイベントであり、多くのご参加をお待ちしております。

#### ～第12回荒尾マジック釣り大会～

大会は、荒尾干潟を直に体験できる荒尾市を象徴するイベントで2012年7月にラムサール条約湿地として登録された日本最大級の干潟を有する荒尾地先において、全国でも珍しい『マジック釣り』を市内外の多くの方々に体験してもらい、地元漁業者との交流を深めて頂くものです。

7月11日(土)8時受付開始、9時釣り開始【予備日12日(日)】となります。

(問合せ・申込み)荒尾市農林水産課 0968-63-1454

1000名申込みで打ち切り。申込終了の可能性あり。(申込期間6月1日～6月30日まで)

#### ～第22回あらお荒炎祭～

あらお荒炎祭は、荒尾市の文化や産業を4つの炎で表現し、その炎を祭りのシンボルとして開催します。8月2日(日)荒尾運動公園ソフトボール場に於いて、14時30分より開会式を開始し、石炭積みレース、四ツ星市場などの様々なイベントを開催します。

(問合せ)荒尾市産業振興課 0968-63-1421

「山の炎」 - 小岱山や陶芸の窯の恵みを象徴

「海の炎」 - 有明海の恵みを象徴

「大地の炎」 - 石炭産業に貢献した大地の恵みを象徴

「人の情熱の炎」 - 荒尾が生んだ偉大な人物「宮崎兄弟」を象徴

### 【上天草市】

上天草市は天草地域の玄関口に位置し、大小さまざまな島が浮かぶ風光明媚な土地柄です。中でも、天草五橋で結ばれた島々の景観は特にすばらしく、決して他では見ることができない絶景が皆さまをお迎えします。

市のほぼ全域が雲仙天草国立公園に含まれ、日本三大松島の一つにあげられる天草松島は美しい夕景でも知られており、「日本の夕陽百選」に選ばれています。

海と山に囲まれ、日本の名勝地として名高い上天草市は、四季折々に美しい表情を

見せてくれます。加えて、潮の流れが緩慢な海で育った海産物も豊富で、フィッシングやマリンスポーツ、イルカウォッチングなどのスポットとしても有名です。

「海フェスタくまもと」開催にあたり上天草市内では、ロープワークやライフジャケット講習、無人島散策が体験できるアドベンチャークルーズ、天草五橋を船で回る天草五橋クルージング、海のアクティビティとして話題のフライボードやホバーボードが体験できます。

その他ハクセンシオマネキや海ホタルの観察会など珍しい海の生物とのふれあいやも計画しています。

毎年、主要港湾都市で開催される「海フェスタ」については、熊本港を中心にイベントが開催されますが、本市では港湾施設を管理する建設課管理係3名で対応しており、中心になって担当するのが本年度採用になったばかりの新人職員です。毎日、右往左往しながら関係団体等との調整をおこなっています。開催まで間近に迫り、イベントを盛り上げていくためには周知活動に力を入れていくことが重要だと考え、先輩方々の意見を聞きながら若者視点での取組みを行っていきます。

玉名市、宇城市、荒尾市、上天草市のご担当者から頂いた写真やはこちらから。  
[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_309\\_6.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_309_6.pdf)

メイン会場へのアクセスやその他のイベント情報は、こちらのURLからどうぞ。  
<http://www.umifesta-kumamoto.com/>

#### 4 九州運輸局ホームページアップ情報

(6月11日～6月24日掲載分)

--- 報道発表 -----  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- お知らせ -----  
<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

--- 各種情報 -----

《入札・契約情報》

企画競争実施公示

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU\\_KOUJI](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI)

物品・役務入札公示

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN\\_CHOTATSU](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU)

企画競争結果の公表

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU\\_KEKKA](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#KIKAKU_KEKKA)

《行政処分状況》

個別の事業者に対する行政処分等の状況はこちら

(一般乗合旅客 27年5月分追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/noriai/noriai27.htm>

(一般貸切旅客 27年5月分追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/kasikiri27.htm>

(一般乗用旅客 27年5月分追加)

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/jyouyou27.htm>

(一般貨物 27年5月分追加)

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kamotu27.htm>

(一般貨物(過積載) 27年5月分追加)

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/kasekisai27.htm>

#### 《九州のうんゆ》

「九州のうんゆ」2015年6月22日公表

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyushuunyu/body.htm>

---- 各種手続き-----

#### 《海技試験制度・合格発表》

海技免状等の国家試験(平成27年7月定期試験の「筆記試験合格発表日・口述日程発表日」)

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm>

---- 分野別情報-----

#### 《公共交通活性化》

地域の交通活性化 [セミナー・研修] 平成26年度 福岡県主催会議資料

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file31-23.html>

九州の公共交通の実態調査 平成26年度 コミュニティバス、乗合タクシー等の実態調査(国土交通本省)(H27.3)

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file20/20150616kotsukikaku.pdf>

#### 《物流》

グリーン物流パートナーシップ推進協議会 メルマガ 第70号 掲載

[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu\\_green/index.html](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kyusyu_green/index.html)

#### 《その他の情報》

九州運輸局危機管理防災対策情報(火山 口永良部島の情報更新)

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/bousai-q.html>

//////// 編集部より //////////////////////////////////////

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。  
編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

九州運輸局メールマガジン編集部(九州運輸局総務部内)

mail: [gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp](mailto:gst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp)

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192